



平成三十一年度 採点の手引（国語）その2

問題	評価の観点	採点上の注意
配点合計	<p>5</p> <p>1 課題と関連する内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料から読み取ったことをもとにして自分の考えが書かれているか。</li> <li>○自分の体験をふまえて書かれているか。</li> </ul> <p>2 文 章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章としてまとまっているか。また、段落や構成に注意して書かれているか。</li> <li>○指示された文章の長さであるか。</li> <li>○文脈（主・述の照応など）、用語などに不適切なところはないか。</li> <li>○原稿用紙の正しい使い方に従っているか。</li> </ul> <p>3 表記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文字・語句・くぎり符号・仮名遣いなどの表記上の誤りや不適切なところはないか。</li> </ul>	<p>○採点は「評価の観点」に従い、16点からの減点法で行う。</p> <p>○資料から読み取ったことをもとにして自分の考えが書かれていなければ、8点を減ずる。</p> <p>○自分の体験（見たこと聞いたことなども含む）をふまえて書かれていなければ、8点を減ずる。</p>
100	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内容の程度に応じて、1～8点を減ずる。</li> <li>○不適切な程度に応じて、1～8点を減ずる。</li> <li>○誤りや不適切なところの多少に応じて、1～4点を減ずる。</li> </ul>